

地方創生推進タイプ (先駆型・横展開型・Society5.0型)

事業概要【IT人材育成・就業応援事業】

推進当初

申請者	福島県ほか2自治体※	初回採択回	令和2年度第1回募集
事業計画期間	R2-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	204,420千円(32,482千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的(効果)	・会津大学との連携により、子育てなどによる時間的な制約の多い女性層を主なターゲットとして、ICTスキルを身につけていくことで、女性の社会復帰を促し、企業への就職を支援する。 ・時間的拘束や空間的移動を伴わない在宅就労（ICTスキルを活かしたテレワーク）などの「多様な働き方」を実現することで、社会で活躍していく可能性を広げていくことを目指す。		
事業概要・ 主な経費	【福島県】 ○女性のIT人材育成 会津大学の知見を活用したオンライン講座により、ITスキル、ウェブデザインスキル等の学習機会を提供する。 ・eラーニング講座運営費等（補助金）26,962千円 ○就労支援 福島県情報産業協会やふくしま就職・生活応援センター等と連携し、就労マッチング等を実施する。 【会津若松市】 ○体験型デジタルコンテンツの開発及びイベントの開催 ・企画運営、開発（委託料他）3,070千円		
KPI	※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値 ①事業を通じた県内ICT関連企業・業務等就労者数（+269人） ②プログラマスキルの習得者数（+120人） ③テレワーク関連業務への就労者数（+90人）	関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） 福島県：https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/ 会津若松市：https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2023070500032/ （効果検証） 福島県：http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/youusikisyakaigai.html 会津若松市：https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2016111100032/	 

※福島県、会津若松市、白河市の広域連携事業

事業概要【地域資源活用による観光交流しごと創出プロジェクト】

推進当初

申請者	福島県ほか 6 自治体※		初回採択回	令和 2 年度第 1 回募集
事業計画期間	R2-R6年度		期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,008,654千円 (196,746千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型		事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	県内の多種多様な地域資源を活用した観光事業を展開することにより、新たな人の流れを生み出し、関係人口・交流人口の拡大と地域の活性化を図る。			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年 度事業費	○サイクリング等の裾野を広げた市町村や民間事業者主体の推進体制の確立 (委託費等) 19,410千円 ○ダムや橋梁等のインフラを活用した観光ツアーの実施 (委託費等) 25,000千円 ○サイクリングルートの利活用促進 (委託費等) 34,941千円 ○サイクリングルート環境整備事業 (案内看板設置等) 3,789千円 ○地域とつながる交流人口拡大事業「ふくしまに行ってみたい」を呼び起こすプロジェクト (委託費等) 6,616千円 ○ふくしまど真ん中まるごと体験周遊推進事業 (委託費等) 19,980千円 ○南会津地域ブランド化事業 (委託費) 8,300千円 ○南会津つながり深化事業 (委託費等) 6,600千円 ○ワークショップやフィールドワーク等の実施 (委託料等) 6,320千円 ○ロケツーリズム体制整備等 (補助金・委託料等) 23,233千円 ○観光コンテンツ等を活用した東アジア・東南アジア向けのプロモーション (委託費) 18,000千円 ○玉川村の新しい魅力創出と多角的情報発信事業 (広告費等) 8,000千円 ○インバウンドに備える「TAMAKAWA」魅力創出事業 (多言語HP作成等) 7,000千円 ○村民郷土愛定着事業 5,000千円 ○レンタサイクル運営 (委託費等) 4,557千円			
KPI ※カッコ内の数値は 最終事業年度まで の「KPI増加分の累 計」の目標値	①県内旅行消費額 (+ 10,000円/人)	②「交流人口受入のためのしごとづくり」事業に参画している企業数 (+ 160企業数)	③「関係人口へつなげる交流人口づくり」事業に参加した人数 (+ 393人)	④外国人延べ宿泊者数 (+ 136,000人)
	関連 URL		(交付金の具体的使途・実施体制) 福島県 : https://kenkou-fukushima.jp/kenmincard https://extremefukushima.ne.jp/ https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/infra/ 福島市 : https://www.city.fukushima.fukushima.jp/seisaku-chousei-sougou/6thsougoukeikaku/zikkoupurankensyokaigi.html 郡山市 : 調整中 伊達市 : 調整中 (効果検証) 福島県 : http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html 福島市 : https://www.city.fukushima.fukushima.jp/seisaku-chousei-sougou/6thsougoukeikaku/zikkoupurankensyokaigi.html 郡山市 : https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/21/5923.html 伊達市 : 令和 6 年 9 月公表予定 玉川村 : 調整中	

※福島県、福島市、郡山市、いわき市、伊達市、南会津町、玉川村の広域連携事業

事業概要【「ふくしまの宝」をつないで稼ぐプロジェクト】

推進当初

申請者	福島県ほか4自治体※	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	375,926千円(54,153千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的(効果)	○本県の多様な風土により育まれた豊かな自然や文化など、地域の特色を生かし、地域全体をつなぐことで、付加価値の創造と地域内消費連鎖によって稼ぐ力を向上させ、「ふくしまの宝」による地域経済の活性化を目指す。 ○本県食料品関連産業を魅力的な産業として発展させていくことで、「もの」の生産力強化が地域の「しごと」を生み出し、新たな「ひと」を呼び込む。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○6次化による新たな地域産業 ・地域産業6次化を核としたビジネスモデルの構築(委託費)34,118千円 ○安定需要に応じるための農産物供給強化 ・ICT技術を活用した夏秋野菜産地の夏季高温対策と技術継承モデルの創出(補助金)3,224千円 ・新たな有機農業者の確保による有機農業先進県ふくしまの創生(委託費)6,000千円、(補助金)1,000千円 ・次世代酪農家の育成による生乳生産基盤の強化(補助金:1,116千円) ○常盤もの知名度向上の取組 ・プロモーション経費(需用費、委託費、使用料等)3,730千円 ○ICTを活用したきゅうり単収の向上 ・町専門員人件費や活動報告会の経費(委託費等)1,316千円 ○スマート農業用機械のシェアリングサービスや須賀川産冷凍十割そばの6次化商品開発事業等に要する経費(補助金)2,781千円  6次化の支援により開発された新商品  令和5年度6次化交流会の様子		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①加工や直売等の年間販売金額(+64.5億) ②ICT+ミスト冷房の導入農家数(+78戸) ③県認証機関での有機JAS認証新規面積(+20ha) ④経産牛飼養頭数75頭以上の経営体数(+11経営体)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 福島県：https://www.fukushima-message.com/ https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/ 須賀川市：調整中 西会津町：調整中 (効果検証) 福島県： http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/youusikisyakaigi.html 須賀川市：調整中 西会津町：調整中

事業概要【ビジネスから人の流れにつなげるふくしま共創プロジェクト】

推進当初

申請者	福島県ほか2自治体※	初回採択回	令和3年度第2回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	179,034千円(18,633千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的(効果)	新型コロナウイルスの感染拡大を契機にニューノーマルと呼ばれる新しい生活様式や働き方を踏まえた人々の意識や行動が変容しつつある中、会津大学の立地や先端技術を活用したまちづくりを進める本県の特徴を生かし、首都圏からの人や企業の流れを創出するとともに、そうした人材が地域との関係性を深める仕組みを構築することで関係人口の増加ひいては移住や定住・二地域居住に結び付けていく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度 事業費	○進出企業と地元のマッチングにより進められる、地域課題解決に寄与する企業のプロジェクト支援 ・企画、サービス開発、実証、広報等の経費(補助金)7,500千円 ○市民の積極的なサービス活用と市民主体の周知活動によるサービスの地域浸透の推進 ・市民向けワークショップの開催、デジタルコミュニケーションツールの整備(委託料)11,163千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	①本事業によって創出された関係人口(+2,800人) ②本事業によって創出された関係企業(+153社) ③新たに生まれた地域プロジェクトの件数(+32件) ④移住やビジネス交流等に関する相談件数(+320件)		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2022100500011/ (効果検証) https://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2016111100032/

※福島県、会津若松市、白川市の広域連携事業

事業概要【デジタルを核とした新たな県産品販路拡大プロジェクト】

推進当初

申請者	福島県	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	292,522千円 (57,197千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	変化する消費者の志向に対応し、消費者に選ばれる強い商品力を持った商品開発を支援することで、プロダクトアウトからマーケットインへのビジネスモデルの転換を図る。 また、デジタルチャネルを活用しつつ、しっかりとした顧客目線のコンテンツによるマーケティングを行うことで、狙った消費者へ確実に訴求し、県産品の販路拡大を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	・Webサイトを活用したプロモーション 17,348千円 ・SNSを活用したプロモーション 15,652千円 ・オンラインコミュニティを活用したプロモーション 7,000千円 ・県内外のクリエイターと県内事業者とのマッチングによる商品開発・改善 4,723千円 ・デザインコンテストの開催 9,207千円 ・SNSによる情報発信及びWEB媒体等のメディアを活用した効果的なポップアップ 3,267千円	 2022-23 グランプリ 福島県内 六酒蔵酒粕 ジェラート セット	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①デジタルマーケティング事業に係るWEBサイトユーザー数（サイトへ訪問した人数から重複を除いた人数）（+498,000数） ②WEBサイトの直帰率（最初のページだけを見て離脱してしまったセッションの割合）（▲20%） ③ふくしまの酒まつりへの参加者数（+3,500人） ④開発商品及び受賞商品の売上額の拡大（事業実施の翌年度計測）（+50%）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/ （効果検証） http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html

事業概要【多世代共生の潤いのまちづくり「誰もが楽しく生涯活躍できる"みちのくの玄関白河"」】

推進当初

申請者	福島県白河市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	269,634千円 (34,584千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	本市の魅力をさらに強化・発展させるとともに、年をとっても活躍しながら住み続けられる安心や経済的な安定を提供する環境を整備し、多世代共生の潤いのまちづくりを進めることで、「誰もが楽しく生涯活躍できる『みちのくの玄関白河』」の実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○女性に寄り添うライフ・ワークサポート社会実装事業 子育て等によるblankから就職に不安がある女性等を対象としたワークショップ・セミナーの開催 (委託料 6,796千円) ○地域プレーヤー創出・育成事業 地域ビジネスに高い関心を有する人材の発掘・育成 (委託料 7,178千円) ○文化芸術活用による人材ハブ機能促進事業 文化と芸術に関連する地域資源を活用した本市への多様な人の流れを生み出す (委託料 1,590千円) ○しらかわ移住魅力発信事業 本市に移住した際の魅力をYouTubeで発信 (委託料 5,320千円) ○しらかわ移住コーディネーター配置事業 移住希望者からの相談への対応や移住等に係る制度の活用支援 (委託料 880千円) ○いきいき健康ポイントプログラム事業 ウォーキング等への参加等にポイントを付与する健康ポイントプログラムの実施 (委託料等 10,427千円) ○高齢者見守り生活支援事業 高齢者の見守りと買い物支援の実施 (委託料 811千円) ○市営住宅お試し居住提供事業 市営住宅の空き部屋を二地域居住や移住体験施設として活用 (修繕費667千円、リース料915千円)		 【ワークショップの様子】  【本市の魅力発信】
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①市独自の支援制度を利用した移住・定住者数（累計）（+900人） ②本事業を通じ本市を訪れた大学生等（高等教育機関の学生）の数（+110人） ③起業家及び新規法人設立数（+12件） ④生涯活躍事業（本事業）に参加した市民の数（+7,000人）		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html (効果検証) https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html

事業概要【ポピュレーションアプローチの強化による健康増進及び産業活性化事業】 推進当初

申請者	福島県喜多方市	初回採択回	令和3年度第2回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	117,392千円 (20,073千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	・幼児期からの楽しみながら体を動かす機会や場の提供により、生涯を通じた運動習慣の定着を図る。 ・成長期の適度な運動と食育により望ましい食生活習慣を実践し、子どもの健全な発育・発達を図る。 ・食育応援店等の協力店で利用できる商品券を交付することにより、市内全域の経済の活性化を図る。 ・子どもの健康をテーマとした取組みと、多様な観光資源の融合により、新たな交流人口の創出を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○ 子どもが楽しめる「スポーツ健康ゾーン」の管理運営 ・管理運営業務委託料 14,475千円 (スポーツ体験会・イベント等開催経費を含む) ○ 子どもの成長が見える化できる「体組成測定」の実施 ・測定業務委託料 198千円 ○ 「m (めご) ポイント事業」や協力店の拡大に関する経費 ・健康コーディネーターの配置、商品券及び事業周知パンフレット等作成経費 3,500千円 ○ 新たな観光コンテンツの周知PR活動経費など ・パンフレット等印刷経費等 1,900千円	 子どもが楽しめる「スポーツ健康ゾーン」の管理運営	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	① スポーツ健康ゾーンの利用者数 (+50,000人) ② 肥満傾向児出現率減少値 (小5男子) (▲7%) ③ 市「食育推進連携事業」参加者数※児童等 (+200人) ④ 観光客入込数 (+5万人)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) https://www.city.kitakata.fukushima.jp/site/aidemi-kitakata/ (効果検証) https://www.city.kitakata.fukushima.jp/soshiki/kikaku/13173.html

事業概要【農業で人と人をつなぎ人を呼び込むふくしま活性化プロジェクト】

推進当初

申請者	福島県ほか6自治体※		初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度		期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	1,046,714千円(219,175千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型		事業分野	農林水産分野
目的(効果)	・農業未経験者の若者が、福島県の農業に魅力を感じ、新規就農として地域に根ざしながら安心して農業を行える環境の整備を図る。 ・県外からの新規就農者が定着、継続的な受入、そして定着が根付くことで、県外からの新規就農先輩がサポートしてくれる安心感から、人が人を呼び込む好循環ができ、多くの産地が活性化することを目指す。			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○住む(移住)×仕事(就農)による新規就農者確保と担い手育成 ・新規就農者支援拠点の構築(補助金)57,261千円 ・情報発信、各種イベントの開催等(委託料)81,262千円 ・青年農業者組織における新規就農者勧誘支援(補助金)3,500千円 ・移住就農及び雇用就農支援体制の構築(補助金)8,000千円 ・農業短期大学校への就農サポート支援員の設置等(報償費ほか)10,235千円 ○浜通り発 労働力こらしよモデルの構築及び普及 ・農家の農作業指導の支援、首都圏学生等を対象とした農作業体験を通じた地域交流(委託料ほか)31,650千円 ○農業等PR専用サイトまたはSNS等活用による記事広告掲載(委託料)550千円 ○多様な手法による豊かな地域農業を担う農家の育成に係る技術導入支援 ・担い手の育成・支援、地域農業の活性化に係る経費(委託料等)5,076千円 ○新規就農希望者に対して各種PR及び就農相談を継続的に実施2,684千円 ○就農イベントへの参加や農業情報総合サイトへの記事掲載等690千円 ○就農支援や移住支援の実績がある団体に育成業務を委託し、受入団体の育成・確保を図る。(委託料)1,947千円 ○多様な新規就農者確保のための受入業務をワンストップで行う団体等に対して補助する。(補助金)5,850千円 ○柳津町の農業の魅力や支援制度に関する情報発信(委託料)2,970千円		 	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①新規就農者数(+1,655人) ②県外からの新規就農者数(+305人) ③雇用就農者数(+827人) ④浜通り地域等の生産現場での作業受託件数(+28件)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 福島県：https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/・https://agri.mynavi.jp/2023_10_27_242071/ 福島市：https://www.city.fukushima.fukushima.jp/seisaku-chousei-sougou/6thsougoukeikaku/zikkoupurankensyokaigi.html 郡山市：調整中 白河市：https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page008616.html 須賀川市：調整中 二本松市：https://www.city.nihonmatsu.lg.jp/ijyu_teijyu/hataraku/page009401.html 柳津町：調整中 (効果検証) 福島県：http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yyuusikisyakaigi.html 福島市：https://www.city.fukushima.fukushima.jp/seisaku-chousei-sougou/6thsougoukeikaku/zikkoupurankensyokaigi.html 郡山市：https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/21/5923.html 白河市：https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html 須賀川市：調整中 二本松市：https://www.city.nihonmatsu.lg.jp/shisei/jigyo_keikaku_gyosei/gyousei_hyoka/page000103.html(令和7年9月公表予定) 柳津町：調整中	

※福島県、福島市、郡山市、白河市、須賀川市、二本松市、柳津町の広域連携事業

事業概要【中山間地域からはじめる地域の魅力向上プロジェクト】

推進当初

申請者	福島県、埴町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	543,372千円 (153,361千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・地域外の人材の協力による自然環境と共生した農村の創出、維持を図る。 ・生産から販売までを通じた地域農業経済モデルの創出による農業の稼ぐ力の向上、担い手の参入と定着を図る。 ・自然環境と共生した農村の創出・維持と、農業の稼ぐ力の向上による担い手の参入と定着の好循環が、条件に不利のない都市的農業地域や平坦地域にも波及し、地域全体の活性化へ寄与。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○「魅力の掘り起こし」と「魅力の発信」による関係人口の創出等による中山間地域等の維持・活性化 ・関係人口創出支援（委託料）19,000千円（補助金）7,000千円 ・鳥獣害対策人材育成支援（委託料）11,060千円（補助金）9,600千円 ○中山間地域における収益性の高い花きや果樹の産地形成や有機性資源の推進などの生産支援 ・ソフト対策（委託料）25,300千円、（補助金）17,944千円 ・ハード対策（補助金）13,178千円 ○花き利用施設の開拓や需要を踏まえた流通支援 ・ソフト対策（委託料）17,415千円 ○農産物等の販路拡大のため、サブスクリプションサービスの活用 ・ふるさと産業おこし協議会等へ補助金 9,000千円  ▲オンライン交流会  ▶地域内対話支援		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①農産物販売金額1,000万円以上の農業経営体数（+363件） ②農地・農業用水等の保安全管理などの地域農業の持続的発展に資する取組を行う関係人口の数（+174人） ③農地中間管理事業を活用した園地継承重点対象3品目（もも、日本なし、ぶどう）の賃貸面積（+106ha） ④県内4市場における県産花きの取扱い本数（+275万本）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 福島県： https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/ 埴町：調整中 （効果検証） 福島県： http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html 埴町：調整中

事業概要【ものづくり産業におけるDX人材育成事業】

推進当初

申請者	福島県ほか2自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	139,137千円(48,263千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的(効果)	・県内企業に対しDXの理解を促進し、DX実現に向けて自立的に人材育成を行う企業の増加を図る。 ・若年層を中心にDX人材を育成し、県内企業に輩出することでDXの推進を図る。 ・県内企業をサポートするベンダー等の育成を行うことで、地域でDXを推進する仕組みづくりを図る。 ・効果的なDX人材育成事例を構築し発信することで、県内中小企業のDX実現に向けた活性化を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○企業在職者への人材育成支援 ・人材育成支援業務(委託費)22,079千円 ・DXに関する講義(謝金・費用弁償旅費)300千円 ・事業進捗に係る経費(需用費・使用料賃借料等)309千円 ○職業訓練施設を中心とした若年層の人材育成 ・DX人材育成の講義に係る経費(報償費・需用費等)6,867千円 ・デジタルものづくり教室に係る経費(需用費・広告料等)2,000千円 ○産学官連携によるDX加速化・伴走支援事業 ・セミナー開催、アドバイザー派遣事業等(委託料等)13,708千円 ○須賀川市内中小企業者等が実施するデジタル化等に伴う技術研修や人材育成を支援(補助金)3,000千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本事業によりDX人材育成に取り組む企業数(+145件) ②職業訓練施設における学生のものづくり関連企業就職者数(+6人) ③在職者向けDX関連セミナーの受講者数(+170人) ④DXやデジタル化に取り組む中小企業者数(+50件)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 福島県：http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/ 郡山市：調整中 須賀川市：調整中 https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/keikaku/chiho_sosei/1010772/1015615.html (効果検証) 福島県：令和6年8月公表予定 郡山市：https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/21/5923.html 須賀川市：調整中

※福島県、郡山市、須賀川市による広域連携事業

事業概要【知的財産を活用したものづくり企業育成プロジェクト】

推進当初

申請者	福島県、郡山市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	182,247千円（66,289千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・新製品開発促進や技術課題解決を図る ・広域連携ネットワークの構築による地域の知的財産支援の自立化を図る ・知的財産を活用できる人材育成を図る ・価値デザイン経営の導入による事業構想を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○新製品開発のための講師による企業訪問や新製品の販路開拓 ・企業訪問コーディネート・ECサイト運営・展示会出展・成果集作成（委託料）12,875千円 ○新製品開発における総合開発戦略の構築支援 ・支援チーム構築・個社支援経費（委託料）8,991千円 ○広域連携ネットワークの構築及び企業マッチングの実施 ・コーディネーターを中心とした支援機関等の情報交換及び企業連携を目的としたワークショップ（委託料）5,411千円 ○知的財産の普及啓発及び人材育成の実施 ・セミナー・ワークショップ開催経費（委託料）1,247千円 ○価値デザイン経営の普及啓発の実施 ・セミナー・ワークショップ開催経費（委託料）5,000千円 ○次世代自動車技術関連企業の販路拡大等 ・セミナー開催・専門家派遣・商談会開催・展示会出展等（委託料）20,539千円 ○戦略的営業基盤強化事業 ・セミナー開催（委託費）3,000千円、補助金 5,000千円 ○知的財産に関する診断・助言、知的財産戦略策定等の支援 ・知財支援コンサルティング（委託料）1,045千円		企業訪問の様子 
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①開発製品売上総額（+3,133千円） ②本事業による支援企業等の商談成約件数（+137件） ③特許商標出願件数（+18件） ④技術課題解決件数（+99件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 福島県： http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/32021b/ 郡山市：調整中 （効果検証） 福島県：令和6年8月公表予定 郡山市： https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/21/5923.html

事業概要【スポーツによるふくしま地域活性化プロジェクト】

推進当初

申請者	福島県ほか 6 自治体※	初回採択回	令和 4 年度第 1 回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	606,934千円 (149,030千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的 (効果)	「スポーツ」というあらゆる人々の共通項となり得る「ツール」を用いて、県民相互の交流を促進し、高齢者や障がいのある人も含めた多様な人々が交流・活躍できる機会を創出することで、全ての県民がいきいきと活躍できる社会を形成するとともに、スポーツ観戦客を広く呼び込む取組や合宿等の誘致を図ることにより県外からの交流人口を拡大させるなど、スポーツが持つ力により地域全体の活性化を実現する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度 事業費	○eスポーツを用いた多様な交流・つながり創出プロジェクト 「誰でもどこでも楽しめる」特性をいかし、eスポーツを通じて多様な交流を促進するイベントの実施。 13,387千円 ○パラスポーツによる多様性理解促進プロジェクト 障がいのない人も対象とした出前講座や体験イベント等を実施し、多様な交流を推進する。 17,876千円 ○プロスポーツによる地域活性化プロジェクト 県内のプロスポーツチームの選手と県民が交流するイベントやPR、県外のサポーターが観戦時に県産品等の魅力にふれあう機会を設けることで、スポーツ観戦による交流人口拡大を図る。 98,812千円 ○サイクリングを活用した持続可能な地域づくりプロジェクト サイクリングコースや合宿誘致を目的としたコンテンツを造成し、持続的な誘客や交流人口拡大を図る。 18,955千円 ・全ての県民が、いきいきと活躍できる社会形成 ・スポーツの力による地域活性化 多様な交流 機会創出 交流人口 拡大 eスポーツ パラ スポーツ プロ スポーツ サイクリング		
KPI ※カッコ内の数値は最終 事業年度までの「KPI 増加分の累計」の目標 値	①本事業をきっかけに誘致・開催されたスポーツ関係の大会・合宿等の参加者数 (+ 2,960人) ②民間主体のeスポーツ交流イベント等の開催件数 (+ 22件) ③パラスポーツ出前講座、体験教室等の受講者数 (+ 5,500人) ④プロスポーツ公式戦の平均入場者数 (+ 3,562人)	関連 URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 福島県 : https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/ 福島市 : https://www.city.fukushima.fukushima.jp/seisaku-chousei-sougou/6thsougoukeikaku/zikkoupurankensyokaigi.html 郡山市 : 調整中 いわき市 : https://noreru-iwaki.jp/ 白河市 : https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/dir000309.html 須賀川市 : https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/keikaku/chiho_sosei/1010772/1015615.html 喜多方市 : https://zo-sa.net/ (効果検証) 福島県 : http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/youusikisyakaigi.html 福島市 : https://www.city.fukushima.fukushima.jp/seisaku-chousei-sougou/6thsougoukeikaku/zikkoupurankensyokaigi.html 郡山市 : https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/21/5923.html いわき市 : https://www.city.iwaki.lg.jp/www/genre/1457395174096/index.html 白河市 : https://www.city.shirakawa.fukushima.jp/page/page005590.html 須賀川市 : https://www.city.sukagawa.fukushima.jp/shisei/keikaku/chiho_sosei/1010772/1015615.html 喜多方市 : https://www.city.kitakata.fukushima.jp/soshiki/kikaku/13173.html

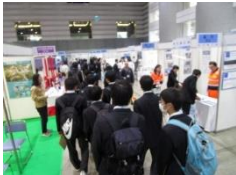
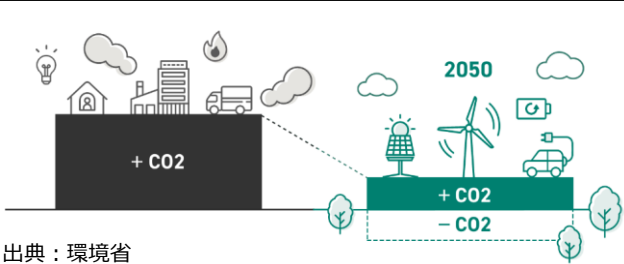
※福島県、福島市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市の広域連携事業

事業概要【多文化共生推進事業】

推進当初

申請者	福島県ほか2自治体※	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	49,485千円(17,562千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的(効果)	人口減少という問題を抱える本県において、「やさしい日本語」の普及促進などの外国人住民の受入環境整備を通して、外国人住民が地域の中で生き生きと安心して暮らすとともに、震災等をきっかけに活気を失った地域の担い手として活躍し、地域住民と共同で地域の活性化を行ってもらうことにより、活気あふれるふくしまの実現を目指す。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○やさしい日本語の普及促進事業 ・関係団体と連携し、「やさしい日本語」の各種講座の開催、啓発・広報活動、日本語学習支援者へのサポート等を行う(委託料)8,063千円 ○外国人住民と地域との共生モデル構築事業 ・モデル地域を選定し、コーディネーターを介して、地域住民と外国人住民が共生できる環境づくりに取り組むとともに、他地域への事例共有を図る(委託料)3,948千円、 ・市町村職員向けの多文化共生研修会を開催し、モデル事例を共有することで、外国人受入のノウハウ習得の支援を行う(講師報償費)138千円、(講師旅費)138千円等 ○やさしい日本語の普及促進に向けた生活情報動画の作成 ・外国人住民が抱える課題をテーマとした動画作成(委託料)1,199千円 ○生活情報をまとめたガイドブックをやさしい日本語等で作成し、外国人や企業へ配布する2,620千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①「やさしい日本語」交流事業参加者数(+3,479人) ②「やさしい日本語」協働パートナーへの取組支援件数(+180件) ③共生モデルを参考に自主的に取り組む市町村数(+4市町村)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 福島県：https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/ 郡山市：調整中 本宮市：https://www.city.motomiya.lg.jp/soshiki/46/youshikisya6.html (効果検証) 福島県：http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/youusikisyakaigi.html 郡山市：https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/21/5923.html 本宮市：https://www.city.motomiya.lg.jp/soshiki/46/youshikisya6.html

申請者	福島県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	169,533千円 (54,071千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	2050年カーボンニュートラルの実現に向け、関連産業の育成・集積につながる人材育成や県内企業の脱炭素化に向けた取り組みを後押しし、本県経済の持続的な成長と新たな産業・雇用の創出を図るため次を行う。 ①県内企業の脱炭素化による産業競争力維持・向上 ②水素関連産業の育成・集積に向けた人材育成・確保 ③ZEHの普及に向けた人材育成・確保		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○カーボンニュートラルの実現に向け、地域の金融機関、経済団体と連携した支援体制（コンソーシアム）を構築し、県内中小企業の脱炭素化を推進する。 (21,616千円) ・コンソーシアムの在り方の検討、アンケート調査 ・サプライチェーン排出量算出、人材育成、ビジネスマッチング ○県内企業等が脱炭素関連産業への参入に向けて取り組む技術開発に先立って行われる事業化可能性調査に対し、その経費の一部を補助する。 (20,216千円) ○水素関連技術者の育成に向けた取組に対し、その経費の一部を支援する。 (7,530千円) ○再エネ・水素関連産業への定着、CNへの意識醸成を行うため、工業高校生等へ再エネを学ぶ機会を提供する。(2,384千円) ○ZEHの普及を進めるため、施工現場で活躍できる実践的な技術者の育成をテクノアカデミーで実施する。(2,325千円)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①脱炭素化に向けた計画を策定し、実現した企業数 (+19件) ②水素関連企業との共同研究や事業化など商談が成立した企業数 (+7件) ③テクノアカデミーにおけるZEH関連資格（スマートマスター）の取得件数 (+17件) ④脱炭素関連技術開発事業化可能性調査を実施した企業数 (+25件)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) 令和6年8月公表予定



事業概要【魅力を伝える医療関連産業人材育成事業】

推進当初

申請者	福島県	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	126,040千円 (40,990千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	・小学生から社会人まで世代の切れ目なく、医療関連産業の人材育成を実施することにより、医療関連産業の活性化を図るとともに、人材の県内定着を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○将来を担う若手世代（小・中・高・大学生等）に医療機器の体験やものづくり企業の技術を体験できるイベントの実施 ・小中高生向けの体験イベントの開催（委託料等 10,313千円） ・医学部生向けプログラムの実施（委託料 7,430千円） ○実務を担う世代及び革新的な人材の育成 ・大学院生等向け医療機器開発人材育成プログラムの実施（委託料等10,485千円） ・企業内人材（中堅社員向け）育成プログラムの実施（委託料等 5,465千円） ・経営層向けプログラムの実施（委託料等 4,895千円） ・事務経費（需用費等 2,402千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①医療プログラム参画企業の従業員（30歳以下）増加数（+26人） ②県内医療機器製造業登録事業者数（+8件） ③プログラム参画企業のISO13485取得予定数（+9件）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） 令和6年8月公表予定



高校生を対象とした医療機器の使用体験

事業概要【地域ブランドと魅力発信を図るCI（コーポレートアイデンティティ）プロジェクト】

推進当初

申請者	福島県国見町	初回採択回	令和4年度第2回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	30,000千円（10,000千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・町の統一的なブランドイメージを確立し、効果的なプロモーションを行うことで、町の認知度の向上を図る ・町の魅力を積極的に情報発信し、関係人口や首都圏を中心とした地域外からの移住者の増加を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○CI活用に係るマネジメント及び自走に向けた支援の委託 ・CIを活用するための全体的なプロデュース及びブランディングの内容検討、修正（委託料）5,000千円 ○協議会運営経費 ・委員費用弁償など 198千円 ○パッケージ開発委託 ・国見町で開発・販売されている特産品や6次化商品のCIを活用したパッケージ開発（委託料）2,000千円 ○作成されたCIに基づく町のプロモーション事業 ・ポータルサイトPRのほか、CIを活用した産品をPRするためのサイトの構築及びSNSやweb広告を活用したプロモーション事業（委託料）1,302千円 ・町の情報を総合的に網羅したパンフレットの作成（委託料）1,500千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①CIを活用した商品の販売額（+240千円） ②道の駅国見売上額（+2,936,500千円） ③首都圏や町外在住者に対するアンケート調査による国見町の認知度（+123%） ④本事業を活用した新規移住者・二地域居住者（+53人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） https://www.town.kunimi.fukushima.jp/life/5/23/116/

事業概要【林業を核とした地域振興事業】

推進当初

申請者	福島県南会津町	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R6年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	21,763千円 (8,120千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	・広葉樹材利活用の推進 ・広葉樹の普及促進 ・林業従事者の増加と人材育成		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○広葉樹利活用高度化事業 ・広葉樹材供給ステーション利用促進事業（4,700千円） 町産木材に係る地場産業の振興を図るため、広葉樹材等の販路拡大やブランド化の推進に向け、当該ステーションの運営及び普及促進のためプロモーションを実施する。 ・広葉樹普及促進事業（1,500千円） 広葉樹普及促進のためのイベントを開催する。 ○林産業人材育成支援事業（1,920千円） 次世代の人材の雇用を促進し、林業成長産業化を推進することを目的として、技術職員を新たに雇用した林業事業体を支援する。		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①用材用丸太取引量（+60m³） ②新規就業人数（+6人） ③年間素材生産量（+15,000m³）	関連URL	（交付金の具体的な使途・実施体制） 調整中 （効果検証） 調整中

事業概要【転職なきふくしまぐらし。推進プロジェクト】

推進当初

申請者	福島県ほか3自治体※	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	603,675千円(208,360千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的(効果)	テレワーク等をはじめとした多様な働き方や暮らし方が可能な環境を整備するとともに、県内における理想の働き方や暮らし方の実践事例をPRし、移住を促進する。さらに、移住してきた新たな人材が地域課題のビジネス化を通して地域との関わりを深めていくことを促し、地域活力の向上を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○転職を伴わない移住者等の取込 ・テレワーク体験や移住体験の受け入れ環境の整備等(委託料等) 158,086千円 ・移住希望者やテレワークによる2拠点居住の希望者等に対し、おためし住宅による移住体験の機会を提供(委託料) 3,080千円 ・シティプロモーション事業の企画運営費(委託料) 3,480千円 ・オーダーメイド暮らし体験事業経費(委託料) 8,102千円 ○地域課題のビジネス化による解決 ・企業等がビジネスとしての地域課題解決に取り組む事例をモデル化(委託料等) 15,920千円 ・地域キーパーソン等とのマッチング(委託料等) 19,692千円  受け入れ環境の整備(テレワーク体験者や地域の方を交えたトークイベント)  地域課題のビジネス化(地場産品のポップアップストアを展開)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①本県で転職を伴わないことを前提とした移住体験をした人数(+770人) ②ビジネス化した地域課題数(+9個) ③仕事化した地域課題等に関わった人数(+510人) ④転職を伴わない移住者等と地域をつなぐ拠点となったテレワーク施設数(+30施設)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 福島県：https://fukushima-kurashi.com/ https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11025b/teleworkkikatsuyou.html https://pro-fukushima.com/ https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41065a/kitefukushima.html (調整中) 須賀川市：調整中 伊達市：調整中 天栄村：https://www.vill.tenei.fukushima.jp/site/iju/ (効果検証) 福島県：http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/yuusikisyakaigi.html 須賀川市：調整中 伊達市：令和6年9月公表予定 天栄村：https://www.vill.tenei.fukushima.jp/soshiki/35/chihousousei-sougousenryaku2.html (令和6年8月公表予定)

※福島県、須賀川市、伊達市、天栄村の広域連携事業

事業概要【ふくしま中小企業者等D X伴走支援事業】

推進当初

申請者	福島県、須賀川市	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	144,478千円 (54,989千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・デジタル技術等により企業の生産性を高め、魅力ある商品、サービスの提供を図る。 ・魅力ある企業が増加することで、県内への移住・定住促進を図る		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	〇県内3地域におけるセミナーやワークショップの開催 ・セミナー等集客・開催（委託料）5,563千円 〇専門家の伴走支援による経営課題の解決 ・伴走支援（委託料）27,065千円 〇伴走支援した企業事例の県内への発信 ・成果発表会、事例集作成（委託料）2,453千円 〇事務経費 ・委託先管理費等（委託料）9,908千円 〇デジタルツール導入等への支援 ・D X推進補助金（補助金）10,000千円 社外の知見を活用したい県内企業 デジタルに知見を有する専門家（アドバイザー） マッチング 経営課題の相談 D X推進に関する伴走支援 企業の経営課題に応じたD X専門家による伴走支援！！		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①伴走支援によりD Xを推進し、経営課題に取り組んだ企業数（+90社） ②DX理解促進セミナーへの参加者数（+180社） ③横展開したモデル事例数（+300社）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） 令和6年8月公表予定

事業概要【福島県次世代航空モビリティ・宇宙産業集積推進事業】

推進当初

申請者	福島県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	450,794千円 (170,365千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的 (効果)	・社会実装が進み急速に市場が拡大すると予測されている次世代航空モビリティ分野について、コーディネーターの設置、サプライチェーン構築などに取り組み、育成・集積を図る。 ・民間取引の拡大基調に移行した宇宙分野において、新たに産学連携の研究開発支援に取り組むなど、育成・集積を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	1 次世代航空モビリティ分野 (1) 航空宇宙産業コーディネーターの活動【委託料】(20,000千円) (2) 次世代航空モビリティ分野に関する企業勉強会を運営 【報償費(講師)、講師旅費、需用費(資料準備)】(3,000千円) (3) サプライチェーン構築支援【補助金(研究費用)】(20,000千円) (4) 認証・資格取得について、選定企業に対する技術的支援 【委託料(専門機関支援)、補助金(認証取得経費)】(12,281千円) (5) 参入企業への設備導入支援【補助金】(40,000千円) 2 宇宙分野 (1) 県内大学と県内企業の共同研究・技術開発【補助金】(20,000千円) (2) JAXAとの連携強化(企業の技術力向上)【委託料】(1,500千円) (3) 展示商談会等への出展を支援【委託料、補助金】(34,990千円) (4) 高度先進機器の導入【備品購入費】(18,594千円)		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①次世代航空モビリティ関連分野及び宇宙関連分野への参入企業数(+13社) ②サプライチェーンにおける受注件数(+4件) ③次世代航空モビリティに対応した認証取得企業数(+4社) ④「航空機用原動機製造業」・「その他の航空機部分品・補助装置製造業」付加価値額(経済センサス)(+60百万円)		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/32021f/ (効果検証) 令和6年8月公表予定

事業概要【福島県産医療機器ステップアップ支援事業】

推進当初

申請者	福島県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	185,279千円（64,093千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション分野
目的（効果）	・医療現場のニーズと県内医療機器等メーカーによるマッチング支援を行うことで、県内医療機器等メーカーによる新たな医療機器等開発件数を増加させる。 ・県内医療機器メーカー等が開発した製品のフォローアップ（磨き上げ）支援を行うことで、開発した製品の流通促進を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○全国医療現場における開発ニーズの目利きを実施し、事業性が見込まれる案件について、県内医療機器等メーカー等とのマッチングを実施する。 ・医療現場のニーズと県内医療機器等メーカーのマッチング支援（委託料 12,454千円） ・マッチングした案件に関する試作品作成支援（補助金等 10,058千円） ○県内医療機器メーカー等が開発した製品のフォローアップ支援 ・開発した製品に関する市場調査等のフォローアップ（委託料 41,581千円）		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①当事業による医療現場ニーズと県内医療機器等メーカーのマッチング件数（+15件） ②当事業により事業化または取引先が増加した件数（+10件） ③医療機器製造業登録事業者数（+10件） ④本県における医療機器生産金額（+564億円） 関連URL （交付金の具体的使途・実施体制）調整中 （効果検証） 令和6年8月公表予定		

事業概要【矢吹町スポーツ×デジタル振興プロジェクト】

推進当初

申請者	福島県矢吹町	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	161,247千円 (103,820千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	スポーツの価値やスポーツを活用した特色ある「まちづくり」に取り組み、官民連携により「スポーツ」と「デジタル」を掛け合わせ、スポーツをテーマにまちの賑わいを創出することにより、町民サービスの向上とともに関係・交流・流入人口の増加に向けた取り組みを推進する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○スポーツコミッション(運営組織)の設立 5,388千円 ・事業計画策定 ・町内関係者との打ち合わせ 等 ○実証事業の展開(既存施設活用) 17,974千円 ・ソフト事業プログラム実証事業 ・人材育成 等 ○情報発信の強化(広報、プロモーション、PR、広告) 4,653千円 ・プロモーション動画制作費 ・ビジョンブック制作・印刷 等 ○スポーツ科学を軸にしたソフト事業の開発等 1,555千円 ・親子参加型プログラム、アウトドアフィットネス等 ○ハード整備(クラブハウス) 74,250千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①ソフト事業への参加者数(+4,259人) ②ソフト事業の開発件数(+10件) ③事業関連の収入(+779万8千円) ④スマートパーク(仮称)利用者数(+5,953人)		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.town.yabuki.fukushima.jp/page/page009771.html (効果検証) https://www.town.yabuki.fukushima.jp/page/page009939.html

事業概要【里山が心を紡ぐ、人と人を睦むプロモートプロジェクト】

推進当初

申請者	福島県鮫川村	初回採択回	令和5年度第2回募集
事業計画期間	R5-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	42,975千円（16,100千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・中心地域活性のため、住民による村づくりを考え、自分達で考えるコンパクトヴィレッジ構想の実現を図る ・関係人口創出事業の実施による異業種間連携を促し新たな交流人口の創出を図る ・関係人口創出アプリの活用による交流機会の情報発信強化とデータ収集・分析・活用モデルの構築を図る		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	村中心地域活性化事業と交流人口の創出事業 ・懇談会経費 1,700千円 ・アドバイザー業務委託料 2,400千円 関係人口創出事業 ・関係人口創出コーディネーター料 3,000千円 ・交流人口創出事業 5,000千円 ・美活動刈上げ鮫（ジョーズ）事業運営 2,500千円 ・関係人口創出アプリ保守業務 1,500千円 合計 16,100千円 里山だからこその新たな価値の創出と 交流人口の増加による住民の幸福度向上		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①住民ワークショップへの参加者数（+50人） ②関係人口の創出イベント（美活動刈上げ鮫（ジョーズ））参加者数（+70人） ③関係人口創出アプリ登録者数（+500人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） 調整中

申請者	福島県ほか 3 自治体※		初回採択回	令和 6 年度第 1 回募集
事業計画期間	R6-R8年度		期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	131,623千円 (55,048千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型		事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	人口減少・高齢化が進む中、サービス産業が衰退し、それが若年層の減少を加速させるという負のスパイラルを回避する観点から、鉄道沿線を軸に都市機能が集積するという構造を活かして、沿線の市町村間で機能を分担・連携する「コンパクト＋ネットワーク」を構築し、住民が参画した地域社会を形成することにより、持続可能な地方創生を実現する。			
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○駅と鉄道を活かした地域活性化を図るためのプレゼン大会と沿線住民の関心を高めるためのイベントを開催する。また、広報媒体等による情報発信を行う。加えて、路線ごとの地域活性化に必要なデータを収集するため、調査を実施する。 ・水郡線全線開通90周年記念イベント（委託料）11,736千円 ・webサイト構築（委託料）4,500千円 ・特集記事掲載（委託料）3,839千円 ・PR動画制作（委託料）5,192千円 ・鉄道輸送の高度化に向けた検証事業（委託料）11,913千円 ○交通結節点機能強化に向けた鉄道駅利用状況調査（委託料）3,057千円 ○交通空白地解消に向けたモビリティサービス検討調査（委託料）3,751千円 ○乗車機会を提供するための水郡線全線開通90周記念団体臨時列車を運行（委託料）1,000千円（印刷費）60千円 ○地域運営ワーキンググループの開催、住民の受入れ意識の醸成、泉郷駅前を含むまちなか賑わいづくり（委託料）10,000千円			
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域の人口・世帯数（▲6,389人） ②来街者による賑わいが維持できていると回答した商店街の割合（＋4.50%） ③地元自治体等と共に課題解決に向けた学習活動を実施した学校の割合（＋40.00%） ④地域の課題を解決するための提言や、社会に貢献する何らかの活動を行った生徒の割合（高校在学中）（＋70.00%）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 福島県：https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/ 郡山市：調整中 石川町：https://www.town.ishikawa.fukushima.jp/index.html 玉川村： https://www.vill.tamakawa.fukushima.jp/guide/plan/000054.html （効果検証） 福島県：調整中 郡山市：https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/21/5923.html 石川町：調整中 玉川村：調整中	

※福島県、郡山市、石川町、玉川村の広域連携事業

事業概要【デジタル技術を活用したものづくり企業の働き方改革支援事業】

推進当初

申請者	福島県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	196,995千円 (66,355千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	働き方改革分野
目的 (効果)	・デジタル技術の製造現場への導入により、働き方改革を推進し、ものづくり企業の魅力向上を図る。 ・中小ものづくり企業が働きやすい企業に成長することにより、女性・若者の新規就労者が増加し、活躍することで地域の魅力の向上を図る。		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○製造業における働き方改革モデルの創出 ・セミナー、ワークショップの開催及びコーディネータ、アドバイザーを派遣 (委託料) 15,730千円 ○地域産業の魅力向上支援 ・日本酒の製造工程をデジタル技術で見える化するIoTセンサデバイス及びデータ共有システムを試作開発 (需用費) 5,150千円、(役務費) 300千円、(備品購入費) 20,000千円 ○働き方改革高度化支援 ・デジタル技術の試験導入と効果検証が手軽にできる「試作キット」の開発及び実証ラボの整備 (需用費) 6,679千円、(役務費) 3,863千円、(備品購入費) 13,189千円、(その他) 1,444千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における人口一人当たりの労働生産性 (+571千円/人) ②セミナー、ワークショップ、成果発表会等の参加者数 (+370人) ③デジタル技術導入支援数 (累計) (+300件) ④デジタル技術の導入による働き方改革・改善件数 (累計) (+30件)		関連URL (交付金の具体的使途・実施体制) https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/hightech/ (効果検証) 令和7年8月公表予定

事業概要【地域課題解決プロジェクト創出事業】

推進当初

申請者	福島県	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	405,531千円 (135,177千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的（効果）	・多種多様な人材が自分らしい働き方をできる新たなしごとの創出 ・地域課題を解決する新たなチャレンジ人材の確保 ・新規性・成長性をもった事業者と地元企業の連携による新事業創出		
事業概要・主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○新規性・成長性のある事業者の創出・意識醸成 ・ウェブサイトの構築・運営（委託料）4,995千円 ・ピッチコンテストの開催（委託料等）11,333千円 ・新規プロジェクト立ち上げ支援（委託料等）20,456千円 ○地域課題解決に向けた新規チャレンジ人材育成 ・県内等の大学・研究機関の事業化支援（委託料等）42,857千円 ・学生へのチャレンジ支援（委託料）1,298千円 ・女性の創業支援専門人材育成（委託料等）6,621千円 ○新規性・成長性のある事業者の成長支援と県内企業との連携支援 ・県内での事業拡大に向けた成長支援（委託料等）25,040千円 ・新規性・成長性のある事業者と地元企業のマッチング支援（委託料等）22,577千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地方へのU I Jターン数（+240世帯） ②新規プロジェクト立ち上げ件数（+9件） ③地域課題解決事業と県内企業等のマッチング件数（+22件） ④意識醸成に向けたコンテスト参画数（+270人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/32021b/ （効果検証） 令和7年8月公表予定

申請者	福島県田村市	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	57,715千円 (19,315千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・「観光のまち」を取り戻すための桜を起点とした誘客促進による消費喚起を図る ・原発事故後に一度は失われたシビックプライドの醸成に向けた市民参加型の観光の組成 ・インバウンド誘客に向けた受け入れ環境の強化を見据えた多言語対応デジタルパンフレットの整備 ・市内観光周遊の活発化に向けたデジタルスタンプラリー等による周遊促進、消費喚起		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	来訪者 デジタルパンフレット スタンプラリー 開花情報 インバウンド 周遊コース オンラインショップ 周遊促進・消費喚起 効果検証 ○桜を起点としたデジタルスタンプラリーを実施し、市内の周遊促進の企画実施 ・アプリ開発・システム構築（委託料）1,500千円 ・特設サイト構築費（委託料）300千円 ・情報発信媒体掲載（委託料）950千円 ○インバウンドの受け入れ環境整備に向けたデジタルパンフレット整備、 現物パンフレットの整備 ・企画・設計（委託料）130千円 ・既存ポータルサイト改修・開発（委託料）3,100千円 ・既存ポータルサイト多言語翻訳費（委託費）400千円 ・ディレクション・管理（委託料）1,370千円 ・高齢者向け現物パンフレット作成（委託料）1,000千円 ○台湾に向けたインバウンドプロモーション ・台湾需要調査（委託料）3,000千円 ・企画・設計（委託料）3,000千円 ・情報発信媒体掲載（委託料）4,000千円 ○閑散期における誘客促進に向けたフォトラリーの実施 ・企画・設計（委託料）165千円 ・情報発信媒体掲載（委託料）400千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①観光消費額（+9,000,000円） ②台湾人旅行客入込数（+100人） ③デジタルスタンプラリー消費額（+270,000円） ④デジタルスタンプラリー・フォトラリー参加者数（+600人） 関連URL (交付金の具体的使途・実施体制)調整中 (効果検証) https://www.city.tamura.lg.jp/soshiki/1/machizukuri-sousei_1_1.html		

事業概要【半世紀を経て完成する歴史の道八十里越街道と日本一の地方創生路線只見線が繋ぐ新たな広域観光X（エックス）圏創生プロジェクト】

推進当初

申請者	福島県只見町ほか4自治体※	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	131,667千円（23,145千円）
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的（効果）	・八十里越街道・只見線沿線から面的な広域観光エリア圏を構築し、地域観光経済効果を増加する。 ・広域観光連携による地域内経済循環と自立（持続）可能な観光産業・組織を作る。 ・観光交流人口⇒関係人口⇒移住定住人口のサイクルを増加させ、人口減少による課題を解決する。 ・観光・経済・移住・環境教育の連係により人材の育成と確保を図る。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○只見町 ・八十里越街道の魅力化・魅力発信に関する事業2,600千円 ・只見線魅力化・魅力発信事業3,000千円 ・只見線ビュースポット整備事業（ハード）1,000千円 ○南会津町 ・八十里越街道開通PR強化事業2,000千円 ○金山町 ・八十里越街道開通PR強化事業1,540千円 ・会津川口駅・只見線沿線魅力化事業3,350千円 ○三条市 ・八十里越街道の魅力化・魅力発信に関する事業5,355千円 ○魚沼市 ・只見線魅力化・魅力発信事業4,300千円 		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+11,944,080千円） ②只見線区間平均通過人数（+84人） ③移住者UIターン者数（+223人） ④エリア内連携コンテンツ数（+8件） 関連URL （交付金の具体的使途・実施体制） 只見町：調整中 南会津町：調整中 金山町：調整中 三条市：https://x.gd/YLnEs 魚沼市：調整中 （効果検証） 只見町：調整中 南会津町：調整中 金山町：調整中 三条市：https://x.gd/YLnEs 魚沼市：調整中		

※只見町、南会津町、金山町、三条市、魚沼町の広域連携事業

**事業概要【「埴町特産品」を活用したFOODY(食を目当てに旅行する富裕層)を
ベースとした広報・マーケティングによる来町者数増・地域経済活性化事業】**

推進当初

申請者	福島県埴町	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	131,600千円 (33,600千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	観光分野
目的 (効果)	・「魅力ある埴町特産品を埴町へ食べに来る」という、情報発信のための特定のコンテンツをベースとした「町内外に向けた多量の情報発信」を行うことにより、埴町の魅力が町外に伝わり、交流人口の獲得の効果が期待でき、さらに特産品の地産地消関連イベントを開催することで宿泊者数が増え、観光活性化に寄与する。 ・観光産業の発展により新たな雇用機会が生まれ、関係人口が増加し、最終的に労働人口の増加と移住・定住人口の増加に貢献する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	○イベント開催広報事業（広報ネタとしてのイベント実施費用実費含む） 9,500千円 ・埴町特産グルメ試食イベント 紅葉バージョン/クリスマスバージョン/お正月バージョン/節分バージョン （近隣市町村新聞折込、ポスター作成貼付、試食用食材等、映える装飾品等） ・埴町特産モクテル試飲イベント（モクテルコンテスト等含）紅葉バージョン/クリスマスバージョン/お正月バージョン/節分バージョン （近隣市町村新聞折込、ポスター作成貼付、試飲用材料食材等、映えるドリンク装飾等） ○デジタルマーケティングSNS情報発信事業 5,200千円 ○プレスリリース高頻度発信事業/メディアリレーションズ対応事業 6,000千円 ○地元企業のデジタル人材育成支援事業 500千円 ○FAMトリップツアー実施事業 2,000千円 ○観光関係者に対する現況教育研修事業 7,200千円 ○事業管理事務局運営事業 3,200千円		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業 年度までの「KPI増加分の累 計」の目標値	①観光消費額（+159,141千円） ②メディア露出数（+36回） ③宿泊者数（+1,575人） ④観光協会サイトアクセス数（+12,150PV）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.town.hanawa.fukushima.jp （効果検証） https://www.town.hanawa.fukushima.jp

事業概要【豊かな自然の中で実現する自分だけの「たまかわくらし」プロジェクト事業】

推進当初

申請者	福島県玉川村	初回採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	56,068千円 (20,908千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	地方への人の流れ分野
目的 (効果)	人口減少及び高齢化の加速化による地域の担い手の流出と地域産業の衰退に歯止めをかけるため、移住相談窓口の一本化や官民が連携した移住者等サポート体制を構築の構築、受入意識の醸成により、「暮らし」、「仕事」、「コミュニティ」の各方面での事業を展開し、UIターンを促進する。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR6年度事業費	・村の現状を発信するとともに、個人の状況に合わせた暮らし方や働き方の提案やコミュニティの橋渡し役となるトータルサポート窓口「たまかわくらし移住定住サポートセンター」設置運営費用 委託費等 6,148千円 ・地域産業の活力を取り戻し、地域産業の特性を活かした多様な働き方を実現させるための体制を整備する費用 委託費等 8,550千円 ・コミュニティへの参画支援や設立、空き家の利活用を促進するための費用 委託費等 3,210千円 ・お試し住宅の整備費用 修繕費等 3,000千円  移住するのよ 福島県 玉川村		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	①UIターン数 (+25世帯) ②移住相談者数 (+100組) ③移住定住サポーター養成数 (+11人) ④地域事業者との連携数 (+50件)	関連URL	(交付金の具体的使途・実施体制) 調整中 (効果検証) 調整中

地方創生拠点整備タイプ (当初予算分)

事業概要【農業短期大学校施設統合整備計画】

拠点当初

申請者	福島県	初回採択回	令和5年度第1回募集
事業計画期間	R5-R6年度	期間中の交付対象事業費 (カッコ内はR6年度事業費)	3,000,000千円 (2,187,291千円)
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（当初予算分） ※R6年度はR5年度補正予算により早期執行	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	本県農業を担う多様な人材の確保と育成のため、県内外の新規就農希望者や農業を志す学生が就農に必要な知識や技術を習得できる施設を整備し、また若手や就農後間もない農業者、新技術の習得に意欲的な農業者などが、段階的且つ継続的に研修を受けられる体制を構築し、農業者が地域に根ざし安心して農業を営める環境づくりを目指すことで、本県の基幹産業である農業の一層の活性化と持続的発展を図る。		
整備内容・ 利活用方策 ※経費内訳はR6年度事業費	令和3年4月に策定した基本構想に基づき、老朽化により機能が停止している旧研修関連施設と学生寮を統合集約化し、学生及び研修生が滞在し利用する生活機能と、スマート農業対応の多目的教育・研修機能を有する新施設を一体的に整備する。 ○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容 【建築物本体工事】・建築工事費 1,427,574千円 【建築物と不可分な設備工事】計326,460千円 ・電気工事費 141,005千円 ・設備工事費 185,455千円 ○効果促進事業（ハード事業）の内容 ・用地造成費 24,662千円 ・外構整備 406,622千円 ○効果促進事業（ソフト事業）の内容 ・研修施設関係什器類整備 1,973千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①学科卒業生及び長期就農研修生の就農した人数（+21名） ②スマート農業研修の参加人数（+80名） ③遠方（県外・浜通り・会津地方）からの入学者数及び長期就農研修者数（+10名） ④新規就農者の定着割合（独立・自営就農した者のうち、認定新規就農者の計画満了時の定着率）（+4.3%）	関連URL	（交付金の具体手使途・実施体制） https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11015b/ （効果検証） 調整中

地方創生拠点整備タイプ (補正予算分)

事業概要【浜の駅松川浦増築整備事業】

拠点補正

申請者	福島県相馬市	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	344,497千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	農林水産分野
目的（効果）	当市の基幹産業の一つである水産業と、松川浦周辺を中心とした観光業を立て直すため、当市の復興のシンボルとしてオープンし、現在では当市の観光の中心となっている相馬復興市民市場（愛称：浜の駅松川浦）の集客力をさらに活かすための機能強化（増築整備）を行う。浜の駅松川浦を訪れ、相馬産水産物に親しみ、実際に食する体験をする人を増やすことで、相馬産水産物のブランド力と需要を回復し、水揚げの増加と観光客増を図る。		
整備内容・利活用方策	浜の駅松川浦に、地場食品の販売とイトインのコーナーや体験コーナー等の機能を追加する。地場食品の販売コーナーでは新鮮な地元魚介類を使った寿司等を販売し、より多くのお客様に相馬産水産物に親しんでもらうことを可能とする。体験コーナーにはタッチ操作が可能な大型のデジタルサイネージを設置し、楽しみながら相馬産水産物に親しむことのできる体験型コンテンツ「デジタルお魚図鑑」を提供及び各種観光情報やイベントの告知等、効果的に情報発信する。 ・増築整備費：301,706千円 ・設備整備費：29,775千円 ・備品等整備費：7,773千円 ・デジタルサイネージ設置及びコンテンツ開発費：5,243千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における農林水産出荷額（+880.29百万円） ②相馬市における漁船乗組員の新規就業者数（+4人） ③市内の主な観光地への観光客入込数（+24.7万人） ④浜の駅松川浦の売上高（+197,645千円）		
	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） 調整中	



事業概要【三春町キャンプ体験施設整備事業】

拠点補正

申請者	福島県三春町	採択回	令和6年度第1回募集
事業計画期間	R6年度	交付対象事業費	396,946千円
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（補正予算分）	事業分野	観光分野
目的（効果）	アウトドア環境整備としてユニットキャンプ施設を整備し、手軽な体験型観光を推進することにより、三春滝ザクラを中心とした春メインの観光産業から「通年型観光への転換」を目指す。また、三春町を拠点とした、登山エリアの周遊など人的交流や町内外の地域経済の活性化を図る。		
整備内容・利活用方策	ユニットキャンプは、手ぶらでも気軽に宿泊ができるための設備を常設したキャンプサイトであり、キャンプ初心者でも利用できる施設である。当町ならではのアウトドア観光を推進し、体験活動を通じてリピーターを増やすなど関係人口の増加に繋げることで、アウトドア・アクティビティという新たな観光産業を軸とした持続可能なまちづくりを目指す。Wi-Fiを整備することにより、観光客の利便性の向上を図る。また、デジタルサイネージで三春町出身の登山家「田部井淳子」氏を紹介し、登山客の宿泊地としてキャンプ場の活用につなげる。 ・ユニットキャンプ場 283,030千円 ・キャンプ場内道路等整備 99,000千円 ・登山家「田部井淳子」氏の映像制作、放映 5,016千円 ・キャンプ場Wi-Fi整備 9,900千円		
KPI ※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値	①地域における観光消費額（+600百万円） ②滝ザクラ開花時期を除いた観光入込客数（+120,000人） ③ユニットキャンプ場利用者数（+3,140人） ④ビジターセンター利用者数（+13,000人）	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） 調整中 （効果検証） 調整中